



一つの考えにこだわらず
様々な角度から考えることの重要性を
改めて学ぶことができたと思います。

電気技術職 建築部 公共設備課

菰口 将考 (こもぐち まさたか)

平成24年度入庁

なぜ、倉敷市職員に？

私は小学生の頃から倉敷市で育ち、愛着のある倉敷市に何か貢献ができる仕事がしたいと思っていました。そんな時、友人から倉敷市で電気技術職の採用を行っていることを聞き、業務内容を調べてみると、学校や公園便所など身近な公共施設を造っているということを知りました。自分の手で倉敷市のまちづくりに携われること、また、それによって市民の皆様の役に立つことができることに魅力を感じ、倉敷市職員になることを志望しました。

現在担当している仕事内容は？



私が所属する公共設備課は、学校や公民館など公共施設の新築・改修工事の設計・施工監理を行う部署で、私は電気設備を担当しています。

設計業務では、照明・コンセントなどの電灯設備、電話・放送などの通信設備、電気を供給する受変電設備など、様々な電気設備の設計を行います。法令や基準を満たした設計をすることはもちろんですが、関係部署、施設管理者、建築・機械設備の担当者との打ち合わせや現地調査を十分に行い、市民の皆様がより安全で快適に利用できる設計となるよう心掛けています。施工監理業務では、工事が工程通り進んでいるか、設計図書通りに施工されているかなど施工状況の確認を行います。問題が発生した際には施設管理者や受注者と協議を行い、臨機応変に対応策を検討します。

これまで担当した仕事の中で私が印象に残っているのは、玉島地区の小学校の改築工事で、初めて担当する大きな物件でした。設計段階から学校関係者、機器メーカー、建築・機械設備担当者と打ち合わせを何度も行い、機器の仕様や設置場所、配線ルートなどの検討を行いました。施工が始まってからは、設計通りの施工が困難な箇所が発覚し、工事が止まらないよう早急に判断しなければならなかったこともありましたが、上司や先輩たちにフォローしてもらいながら無事工事を完了することができました。完成後に学校の先生から感謝の言葉を頂いたことは今でも忘れられません。

この経験を通じて、関係者と打ち合わせを行い、現場の声を設計に反映させることの大切さや、一つの考えにこだわらず様々な角度から考えることの重要性を改めて学ぶことができたと思います。

倉敷市職員になってよかったことは？

自分が設計した建物が造られていく過程に立ち会うことができるのが魅力だと思います。完成した施設が実際に利用されているところを見たときは、市民の皆様の役に立つことができたことを実感し、何とも言えない達成感があります。

また、倉敷市には全国的にも有名な観光施設・商業施設があり、それらに関わる設備を担当することがあります。私は現在、児島にあるジーンズストリート内の公園の整備工事を担当しており、自分の担当する施設が倉敷市の一部となることにとてもやりがいを感じています。



志望者に向けてメッセージ

電気技術職の仕事は、様々な電気設備を扱うため幅広い知識が求められます。勉強しなければならないことも多いですが、その分、学ぶ環境も整っており、私が所属する公共設備課では、1年目の職員には先輩職員がトレーナーとして指導をしてくれます。また、職場の雰囲気も良いので、分からないことや困ったことがあればトレーナー以外の先輩職員たちもサポートしてくれるので安心してください。倉敷市がより良いまちとなるよう一緒に働ける日を楽しみにしています。